

議事録

審 議 会 等 名	つくばみらい市特別職報酬等審議会
開 催 日	平成 2 9 年 1 2 月 1 2 日（火曜日）
開 催 場 所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎 2 階 第一会議室
出 欠 者	出席委員 齊藤委員，秋田委員，中島委員，青木委員，飯泉委員， 丸山委員 欠席委員 飯塚委員 事 務 局 齊藤総務部長，中島課長，片倉課長補佐，石井主査， 沖田主幹
議案	つくばみらい市特別職報酬の見直しについて
議 案 概 要	・開会 午後 1 時 3 0 分 ・会長あいさつ ・審議 事務局は，第 2 回つくばみらい市特別職報酬等審議会の中で，提出依頼のあった資料について，詳細に説明を行った。 【質疑等】 委 員 今回提出された資料を見て，改めてつくばみらい市のこれからが期待できる。出生率，年少人口割合，期待できる数字で驚いている。 委 員 私も同じように資料を見てたが，将来性があるという判断に立てると思う。茨城県内を見てみると，つくばみらい市，つくば市，守谷市が競っているようである。両市に近い報酬額としても，比較という点では問題がないと感じる。 質 問 法人市民税が下がっているが，税制の見直しがあったということか。 事務局 平成 2 6 年度税制改正により，法人税割額の税率が引き下げとなっています。 質 問 T X 沿線のつくばみらい市，つくば市，守谷市はどの部分でも伸びているのがよく分かる。今後の人口はどの程度を想定しているのか。 事務局 総合計画の中で将来の見通しを立てており，その中では，

	平成３７年にピークを迎え、５３，２７４人と見込んでいます。それ以降は徐々に減少する見通しを立てており、平成７２年の人口見込みは、４６，０７５人となっています。
委 員	総合計画の人口見込みは、社会情勢を踏まえ見込んでい ると思うが、ＴＸ沿線沿い、高速道路が近いことから、 地の利を生かした魅力あるまちづくりをすれば、日本の 総人口の減少より人口減を食い止められると思う。
委 員	運動施設の面では、人口５万人を超えているにもかかわ らず、茨城県の統計でもつくばみらい市は最下位です。 大会を開催しても他市町村の施設を借りており、施設が 無いから人を呼べない。他市町村を見てみると、人口５ 万人にならなくても立派な施設を持っている。今の現状 を考えると、箱物は無理だろうと。文化施設も目途が立 たない。そうすると、ただベットタウンで東京に勤務し て寝に帰ってくるようなもので、この地域の中での活性 化はなかなか難しいと考える。
委 員	これだけの人口を見ると、今、投資しなければならない 部分がある意味において偏ってしまっている、そうせざ るを得ない。スポーツ施設、文化施設、今のつくばみら い市の予算規模では難しいところがある。他のところに 重点的に投資しなければならない時期にあるだけに厳し い。スポーツ施設、文化施設といったものが充実して、 初めて街の形成が良くなる、市民文化が根付き、市民の 協働が高まっていくと思う。その一方、担税能力が高い 状態を作らなければならない。そのために、企業を誘致 する。できれば、１００人、２００人が就労できるよう な生産企業がいい。そのためのことをしないと財政規模 を確保していくことは非常に難しい。
委 員	企業との関係をみると、東楯戸台線の隣接地に工業団地を 誘致するための都市計画も進んでいるようである。既存 の工業地帯が膨らんでくると、今後、税収も期待できる。
委 員	資料の中では、ポテンシャルはある、人口も順調に伸び ていることが分かる。これから先、この伸びがずっと続 いていくかと言うと、どこかで陰りが出てくるだろうと 思う。その陰りを最小限に食い止めて、どうやって維持 していくか、ポテンシャルのある市だけに、一定の評価 と期待をしていきたい。
委 員	事務局より「答申素案」について説明をお願いしたい。

委員の要請を受け事務局より「答申素案」について説明を行った。

委員 審議会で話をするのは疑問だが、市の行政が逼迫していることから、補助団体への補助金をカットすると連絡があった。そのような状況で、報酬を上げると言うことは、いかななものか。

委員 私の加入する団体も補助団体の一つである。おっしゃったように補助金をカットする話を受けた。いきなり新年度４月からカットしますよということは、少しおかしいと思う。今後もカットされていくのか、平成３０年度で終わりののか、その見通しもないと団体の構成員に説明責任が果たせない。財政について、非常に不安というか、不信というか、そのようなことが予想される。

委員 確かにおっしゃることはよく分かる。補助団体の補助金がカットされて、特別職の報酬額を上げるんだという感情は分かる。しかし、今回は市長、副市長、教育長という職責にある人が、本当に妥当な額であるかどうかというところに着目して、適正な報酬額にして、その職に見合った仕事をしてもらい、益々つくばみらい市の発展に尽くして欲しいと言うところから考えると、少なくとも守谷市くらいの報酬額にはアップしてもいいと思う。今のつくばみらい市の特別職の報酬が、本当に世間一般に照らして、恥ずかしくない額というか、適正な額であるかというところに着目して判断していくしかない。答申素案にある額、概ねこの程度の額であつたら、いたずらに高すぎるということではないと思っている。

委員 類似団体と比較してみると、やはりちょっと異常だなという感じはある。いろいろな資料を比較しても問題ないと思うが、こうした資料をもらっている自分たちはよく分かるが、市民から聞かれた場合、きちんと統一した説明をしていかなければならない。報酬額の数字的には問題ないと思う。

委員 現在の特別職の報酬、そのものは資料を見た中でも低いと判断できると思う。そういう中で、類似団体との平均的な額であるということであれば、市民の皆さんも理解してくれるのかなという気はする。ただ、先程あったように、財政が厳しいから補助金はカットだと、補助金が各団体減らされるということになれば、市民の皆さんか

	ら補助金削って特別職の報酬を上げるのかという意見は出ないとは限らない。いろいろな資料に基づいて議論した我々は、確かに低いということは理解できるが、市民の方から意見が出ないとは限らない。市民の方々に説明する責任は、私どもにはあると思う。 委 員 市長に答申しても、市長が状況を見て議会に提案する。上げる判断、上げない判断、時期をいつにするかというものは、また政治判断が出てくると思う。ここで議論したものが来年度すぐに反映されるかは、ずれがあると思っている。 委 員 我々に与えられているのは、適正な価格はいくらだろう、誰も分からないです。誰がなつてもつくばみらい市の市長の報酬はこの額です、どこへ出してもおかしくない金額です、という適正な報酬額をここで議論いただいた。 委 員 事務局には、本日の議論を踏まえ、答申素案を書き直し、各委員に郵送して欲しい。委員の皆さんは、その素案に対し校正をしていただきたい。 委 員 各委員に答申素案を見ていただいた後の修正は、会長と事務局で行うことを了承願いたい、いかがなものか。 委 員 一同了承する。 答申書のとりまとめ方法については、出席委員が了承した。 閉会 午後 3 時
そ の 他	傍聴人 0 人